



RULES FOR THE FIS YOUTH CUP SKI JUMPING

ユースカップルール

EDITION 2025 / 2026



INTERNATIONAL SKI FEDERATION
SKI ASSOCIATION OF JAPAN
SKI JUMPING COMMITTEE

FIS ユースカップスキージャンプルール 2025／2026

凡例： YOS=FIS ユーススキージャンプ

1. 大会地のカレンダー計画、エントリー、指名

1.1 FIS ユーススキージャンプ

各スキー連盟は、決められた期限内にカレンダー計画小委員会へ FIS ユース大会（個人戦、男女それぞれカテゴリー2つまで）の申請をする権利を有する。

2. YOS 大会参加権利

2.1 年齢制限

カテゴリーユース 1

2013 年、2012 年、2011 年に生まれた男女が 2025/26 シーズンに参加出来る。

カテゴリーユース 2

2010 年、2009 年、2008 年に生まれた男女が 2025/26 シーズンに参加出来る。

2.2 FIS コード所有選手のみエントリーが認められる。

各国スキー連盟は、自国選手の YOS 大会出場選手としての適性及び使用ジャンプ台を扱う能力に対し全ての責任を持つ。

2.3 各国スキー連盟の参加人数

- 各国スキー連盟は、YOS 大会の各カテゴリーに最大 4 名までエントリー出来る。
- 開催国は、ナショナルグループ 5 名（グループ 1）を追加として各カテゴリーにエントリーする権利を有する。
- 開催国の最大スタート人数は各カテゴリー 9 名とするが、その他の国は男女それぞれ最大 4 名までとする。

3. 競技方法及びスタート順

YOS 大会は、ICR452 条（個人戦）に従い、以下の項目を含め実行されなければならない。

3.1 個人戦において、選手を 2 つのグループに分ける。グループの順番は以下とする。

- グループ 1 開催国
- グループ 2 (その他全ての選手)

グループ内のスタート順は以下とする。

- グループ 1 ドロー又はシード
- グループ 2 ドロー

4. カテゴリユース 1 に関する競技用品の例外

- スキー：スキーの長さは、身長の 140%を上限とし、BMI ルールは適用しない。
- スーツ：パーツ数は制限しない、すなわちスーツのデザイン（カット：裁断）を制限しない。
- ビンディング：標準のビンディングのみ使用できる。ビンディングの改良は認められない。ロッドのビンディングを使用する場合、真っすぐなロッドで真っすぐなクリップでなければならない。ビンディングはスキーに平行に固定しなければならない。
- ジャンプブーツ：標準のブーツのみ使用できる。左右非対称の改良は認められない。
- ウェッジ（“ジェット”）：真っすぐで左右対称のウェッジのみ使用できる。

5. 費用の支払い

5.1 全ての YOS 大会主催者は、以下の要点に従い、参加する各スキー連盟に以下の費用を負担しなければならない。

- 全エントリー選手 (ナショナルグループを除く)
- 各国役員 2 名

5.2 宿泊

大会期間中すなわち最初の公式練習の前日から最終競技日の翌日まで、大会が行われるリゾートにおいて部屋と 3 食を提供する。招待状及びインフォメーションパックが、組織委員会から各スキー連盟に送られなければならない。参加チームは、表記された期限までに参加選手をエントリーしなければならない。それによりそれが望む部屋数の予約が確実となる。

予約した部屋を使用しなかった場合、主催者はそのスキー連盟に対しキャンセル料金を請求する権利をもつ。

主催者又はホテルマネージャーは、チームキャプテンの同意なしに、大会日に部屋を明け渡すことを要求することは認められない。